



# SDGs 未来都市への選定及び今後のSDGs 推進について

## 1 | SDGs 未来都市選定について

- 大田区の提案が内閣府の**2023年度SDGs 未来都市に選定**された。
- また、SDGs 未来都市の中でも**特に優れた10都市のみが選定される自治体SDGs モデル事業**にも選定されいわゆる「**ダブル選定都市**」となった。

2023年度SDGs 未来都市	
SDGs 未来都市【28都市】	モデル事業【10都市】
選定 	選定 

## SDGs 未来都市とは

- SDGs の理念に沿った取組を推進しようとする都市の中から**特にポテンシャルが高い都市を選定する内閣府の制度**
- 2018年度から2024年度までの**7年間限定**
- 毎年30都市程度がSDGs 未来都市として認定され、うち**特に優れた10都市はモデル事業選定都市、いわゆるダブル選定都市として認定される**

○ 都内の選定都市（2023年度まで）

- ・大田区(ダブル選定)
- ・東村山市(ダブル選定)
- ・足立区(ダブル選定)
- ・墨田区(ダブル選定)
- ・豊島区(ダブル選定)

**2023年度選定**

- ・板橋区
- ・江戸川区
- ・日野市

○ 2018年度から2023年度までの選定都市数

選定都市数 / 全国自治体数

**182 / 1788都市**

うちダブル選定都市

**60 / 1788都市**

## 2 | 今後のSDGs推進について

### ■ 今後のSDGs推進及び未来都市選定に関するPRの方向性

- ✓ 内閣府の助言等を踏まえ、SDGs未来都市計画を策定し、計画を着実に推進
- ✓ 大田区SDGs推進会議を軸に2030年17ゴール達成に向けた検討を進め、取組を強力に推進
- ✓ SDGs未来都市に選定されたことや計画の内容を積極的にPRし、まちのブランドイメージを向上させるとともに、区民や各種団体を巻き込み、オールおおたでSDGsを推進するための機運を醸成

### ■ (参考) 他の選定自治体におけるPRの例

- ✓ 自治体広報誌やHP、各種SNSを活用した情報発信
- ✓ 庁舎ラッピング、パネル展示、のぼり旗・懸垂幕掲出
- ✓ ノベルティ作成
- ✓ オリジナルロゴマーク作成 等